

自民党区議会議員 23年9月号No.49 毎月1回発行

# とりがい秀夫の地域ニュース

南千住8-3-3-201 電話&FAX (3807) 4811

携帯メール torigaihideo@ezweb



## 区議会決算委員会始まる

### 街づくり・福祉・子育て・教育等804億円審査始まる

荒川区議会9月定例会が12日より始まりました。今回の定例会は10月12日までの31日間開会されます。その会期中の9月22日からは平成22年度の決算を審議する決算特別委員会が始まりました。決算委員会は10月5日まで8日間行われます。



### 監査委員として意見を述べる

### 荒川テレビ放映は10月10日から

初日、委員会の冒頭で私は監査委員の立場から区長宛に意見を付けて回答した旨を報告致しました。決算委員会の模様は荒川区民チャンネルで放映します。10月10日から16日まで朝は9時から午後は6時からとなります。又、委員会を傍聴する方は区役所5階、区議会委員会室へお越してください。開会日、時間等は区議会事務局で確認してください。



橋 幸夫を迎えて「振り込め詐欺被害防止の集い」

日時 10月8日(土) 午後1時

会場 南千住第二中学校 無料

警視庁音楽隊 江戸かっぽれ 等

※ 仲間と一緒に参加しましょう



# 介護、福祉、健康、医療等高齢者の相談所 利用してください！南千住地域包括支援センター

地域包括支援センターは、高齢者の方がいつまでも住み慣れた地域で生活できるように、専門職員（保健師・看護師、社会福祉士、主任介護支援専門員）が介護、福祉、健康、医療などさまざまな面から地域の高齢者の支援を行っています。



## こんな時に相談してください

ひとり暮らしなので何かあったらどうしよう。健康に自信がない。まだ介護は必要ないけど・・・いつまでも元気でいたいけど何をしたら良いのだろうか？訪問販売でいらぬものを買わされてしまった。物忘れが多くて、大事なものをなくしてしまった。近所でお世話をしてもらえないお年寄りがいる。ひとり暮らしで不安だな。たまには誰かに声をかけてほしい。地域で仲間作りができないかしら。介護保険の手続き方法が分からない。ケアマネジャーはどうやって選ぶの？・・・等々、健康づくりのお手伝いや高齢者の方の権利を守ります。つまり、高齢者の駆け込み寺・何でも相談所です。南千住には東京ガス会社の近く、特養ホーム「サンハイム」の中にあります。 **電話番号 3805-5702**

現在、日曜日を除く日に相談を受け付けていて、訪問、電話、来所などで年間合計1万3千件、毎日50件位の相談を受け付けています。是非、家族の健康・医療・介護で悩んでいる方は自分だけで悩まず勇気を出して、相談所に行くことも一つの知恵ではないでしょうか。

.....

節電マイレージコンテストで2,000円相当の賞品をゲット

交換場所 荒川区エコセンター 南千住駅前区民事務所  
節電率30%の方 7月分—LED電球・8月分—ソーラー携帯電話充電器  
9月分—2,000円の区内商品券詳細は3802-3111内線482エコセンター

# とりがい、秀夫歩けの会募集中 日本一の白樺林と紅葉の中を散策

日時 10月16日(日)朝6時15分

～区内各所

行先 長野県一八千穂高原・自然園—白樺林散策

会費 6,800円 (バス代・お茶・入園料等)

(昼食は各自・現地の食堂は混雑の恐れあり)

帰宅 夜7時頃(道路状況により8時頃になるかも)

申込 お電話で3807-4811鳥飼事務所

締切 10月5日、ただし、バス定員なり次第締め切り



八千穂レイ

白樺林を散策

## 都電に33年ぶり花電車復活

都営交通100周年10月1日から5日間

花電車が昭和53年以来33年ぶりに運行します。花電車とは車両を改造して装飾した路面電車のことで、過去に、皇太子殿下御成婚奉祝記念(昭和34年4月)などの花電車が運行されたことがありました。今回運行される花電車のデザインは、都営交通100周年を祝うバースデーケーキをイメージしたものとなっています。夜はろうそくの



部分に明かりがともり、一層華やかになります。運行予定日は10月1日(土)、10日祝)16日(日)23日(日)30日(日)の計5日間で、各日とも日中と夜間に三ノ輪橋—早稲田間を1日2往復する予定。尚、荒天の場合は中止となります。その他

にもイベントがありますので詳細は **荒川電車営業所迄 3893-7451**

# 東北本線・常磐線物語 ②

## 常磐線の始発は田端駅

前号のあらすじ

明治5年に新橋～横浜間が開通した後、鉄道網は瞬く間に日本各地を張り巡らせていきます。明治14年に北の大動脈の東北本線が計画され、その支線として上野から前橋間100キロの高崎線が突貫工事を行い、2年で完成させます。この開通により群馬県の生糸や絹織物が品川を經由し、横浜を經由し輸出するルートが開拓され鉄道による殖産興業のモデルの1号となります。ちなみに富岡製糸場は明治5年に完成します。

常陸（ひたち）と磐城（いわき）方面と上野を結ぶ常磐線は、現在の上野から1駅ずつ延伸していった訳ではなく、むしろ継ぎはぎしながら完成していきました。当初、常磐線も東北本線の支線として、海岸線としての性格を持って工事が着工されます。特に磐城方面の石炭を首都圏に運ぶことを国策として

大きな役割を担います。常磐線の始発は上野ではなく、東北本線の上野と王子の間接点として田端駅が決定します。初めに石炭の受け入れ地として田端～隅田川貨物駅とを結ぶ隅田川線の工事と田端～南千住～北千住～土浦までの開通を同時に目指します。工事の着手時期は未定ですが明治29年12月に完成します。完成当時、上野から土浦へ行く時は、上野から田端へ行き、田端から乗り換えて南千住～北千住～土浦へ向かいました。この不便さを解消するために上野から南千住へのルート（現在の日比谷線ルート）を計画しますが、当時、高級住宅地であった根岸を通過するため、住民から反対にあい、やむなく地図を見るとわかるように、大きく蛇行する路線が計画され、10年遅れの明治38年に上野～日暮里～三河島～南千住が完成します。



昭和30年頃の南千住駅西口